

第1章 日本文化のあけぼの

2. 農耕社会の成立②

教科書 pp.19-22

資料集 pp.36-37

<小国の成立>

弥生時代…余剰生産物をめぐって戦いが始まった。

→いくつかの集落を統合した①_____が分立。

☆史料 (ワークシート4)

②_____ (史料1) や ③_____ (史料2)

→④_____に使者。

→57年⑤_____の王が印綬 by⑥_____

↑朝鮮半島

=⑦_____をもらう (「④_____」)

107年 倭国王帥升らが⑧_____160人を送る。

↑奴隷のこと。

⇒ほかの小国より有利に立つために中国へ。

<邪馬台国連合>

⑨_____ (女王⑩_____)

☆史料…⑪_____ by『三国志』(ワークシート4史料3)

239年 魏に使いを送り「⑫_____」の称号と金印、銅鏡をもらう

⑬_____

- 巫女として呪術的権威を持つ。
- 大人と下戸などの身分差
- 政治組織や租税・刑罰も整っていた。

→卑弥呼の死後、国が荒れたが、⑭_____が王になり、収まる。

↑女性

☆邪馬台国はどこに??

- ⑮_____ 説…3c前半には近畿中央～九州北部まで勢力を伸ばしていた。
=その後のヤマト政権とつながる。
- ⑯_____ 説…比較的小規模で、ヤマト政権に吸収された or 東遷してヤマト政権を作った? あったとしたら、福岡か熊本のあたり?

どっちを支持するかは、あなた次第! 共通テストでは選択した説によって答えが違うなんて言う問題も出題されるようです。

まとめ

弥生時代に入ると戦いが起こり、()が分立するようになった。中でも()や()は他より有利な立場に立とうと中国へ使いを送った。邪馬台国では、女王()を中心に呪術的支配が行われ、その後混乱が起こったが、()が王になることでおさまった。